



沼中だより

7月号

2025年7月4日発行

返子市立沼間中学校

校長 熊谷 啓明

学校教育目標：「個」・「心」・「力」

<校長先生より～選挙は、未来を選ぶということ>

7月に入り、連日厳しい暑さが続いています。沼間中学校でも、こまめな水分補給やエアコンの使用など、熱中症予防に力を入れているところです。ご家庭でも、登下校時の体調管理や、十分な睡眠・栄養補給にご留意いただき、生徒の皆さんが元気に夏休み前を乗り越えられるようご協力をお願いいたします。

さて、今月7月20日(日)には参議院議員選挙が行われます。日本のこれからを決める大切な選挙です。しかし、残念ながら今の日本では、選挙に行かない人が多くいます。昨年10月の衆議院選挙の投票率は53.85%で、戦後3番目の低さ、先月6月22日に行われた東京都議会議員選挙の投票率も、47.59%でした。つまり、有権者の約半分しか投票に行っていないという現実があります。バブル経済の崩壊以降、私たちは「失われた30年」と言われる長い低迷期の真っ只中です。その間に生まれ育った若者たちは、政治に対する関心や期待を失いつつあるようにも見えます。

しかし、今の日本にはたくさんの課題があります。給料が30年も上がらず、物価だけが上がっていく暮らし。お米が足りず、値段が高騰している現状。国際情勢の不安定さなども含め、私たちの暮らしは政治と深く結びついています。よく「政治には関心がない」と言う人がいます。でも、「たとえ政治に関心がなくても、政治とは無関係ではられません」。だからこそ、「自分たちの将来は自分たちで決める」という意識を、一人ひとりが持つことが大切なのです。

沼間中学校では、3年生の社会科授業の中で、「政治的教養を育む授業実践」として、国会議員や地方議員などの政治家の方々をお招きし、「政治家にインタビューしよう」という授業を行っています。今年で4回目を迎えます。毎回およそ10人の政治家の方々が来校し、生徒たちが直接質問をぶつける貴重な機会となっています。この授業の目的のひとつは、早くて3年後、みなさんが18歳で有権者になったときに、投票用紙を大切に使い、自分の一票をきちんと投じられるようにすることです。残念ながら今の日本では、投票用紙を「ごみ箱に捨ててしまう」ように扱ってしまっている人が半分もいるのです。もし、日本の投票率が70～80%になれば、政治家の方々も今よりもっと真剣に、国民の声を受け止め、私たちの暮らしのために働いてくれるようになるでしょう。今年度の「政治家にインタビューしよう」は12月に実施する予定ですので、3年生は楽しみにしてください。

中学生のみなさんには、今から政治や選挙に関心を持ってほしいと思っています。

「自分の将来は、自分で選ぶ」

選挙に行かないというのは、自分の未来を他人任せにするということです。選挙は、私たちの未来を選ぶ行動なのです。ぜひ各ご家庭でも、今回の参議院選挙や政治について話題にさせていただけたらうれしく思います。

<性教育講演会が実施されました>

先週、7月2日(水)に、命と性についての学びを深める講演会で、2時間目に1年生、3、4時間目に3年生、5、6時間目に2年生と、沼間中1階 学習センターで実施されました。

この講演会では、性教育の一環として、専門家の高野先生をお招きし、「命の授業」と題した講演会を実施しました。高野先生は、元気いっぱい、そして一生懸命に生徒の皆さんへ性について理解を深めるお話をしてくださいました。

生徒の皆さんは、真剣なまなざしで話に耳を傾け、性に関する知識や考え方を深める貴重な時間を過ごしました。今回の学びを通じて、異性を尊重し合うことの大切さや、命の尊さについて新たな気づきを得たことと思います。

これから大人へと成長していく生徒の皆さんにとって、命や性について正しく理解し、向き合っていくことの大切さを伝える場となれば幸いです。性について話すことは、恥ずかしいことや避けるべきことではなく、お互いを尊重し、命を大切にすることを育む大切なステップです。

生徒の皆さんには、今日の学びを胸に、これからも自分自身や相手を思いやる気持ちを忘れずに育んでほしいと思います。性について理解を深めることは、より良い人間関係を築き、自分の未来をより豊かにするために必要なことです。

今後も、命や性についての正しい知識と理解を深める取り組みを続けてまいります。ご家庭でも、ぜひお父さまとの会話の中で今回の学びについてお話ししていただければ幸いです。

